

# 一般会計予算案に対する討論の要旨

3月27日の本会議で平成25年度一般会計予算案に対する表決に先立ち、各会派等から賛成・反対の討論が行われました。内容は、各会派等が一定のスペース内で自由にまとめたものを討論の順番で掲載しています。

## ◆星野市長退任表明、骨格に近い予算編成



自民党新政クラブ 本橋 たくみ (所属6名・賛成)

※議長は表決に参加していません。

今回提案されました平成25年度一般会計予算総額361億176万1,000円につきましては、厳しい財政状況にも関わらず、臨時財政対策債を借りないという点を評価する。これまで市長が行ってきた職員定数の削減、人件費の削減などについては今後も不断に実施すべきである。

予算編成については骨格に近い予算ということで義務的経費と最低限必要な政策的経費が盛り込まれており、政策の方向性については市長の考えに賛同できるものである。

全体を眺めてみると、少子・高齢化の影響で民生費の伸びが財政を逼迫させている。例えば、高齢者医療費、介護費、国民健康保険税の一般会計繰り入れなど、今後も支出の増額が見込まれる。福祉の分野については、病気にかからない、介護にかからないといった、健康で元気な高齢者が増えるような政策に力を入れていただきたい。

保育施策については、保育サービスの整備・運営及び提供体制に関する全体計画に基づき、今回は新設のひかり保育園の予算も含まれている。保育所の整備を着実に実施し、待機児童の解消に具体的に取り組んでいる点は評価できる。一方、既存保育園の経営的な問題も両輪で取り組んでいっていただきたい。

生活保護者への入浴券の支給見直しについては、評価できる。本来、生活保護制度は、法定受託事務であり、国の責任において行われる事業である。市が独自に現金給付や現物サービスを行うことは、本来、市がやるべきことではない。ケースワーカーと連携し、不正受給の撲滅、生活保護者への就労支援を着実にを行い、生活保護者を自立させることが本来の福祉のあるべき姿である。

防災対策については、消防団第三分団詰所建て替え予算、また防災推進地区の推進等災害に強いまちづくりに積極的に取り組んでいる点は評価できる。

都市計画の経費については、都市マスタープランの改定の委託費をはじめ前向きに取り組んでいる点は評価できる。都市計画道路国3・2・8号線が市内の中央を通ることもあり、用途変更も含め、市財政にプラスになるように取り組んでいただきたい。

ふんバスについては、北町ルート、万葉・けやきルートの試運転を実施するという点で評価できる。本格運転ができるようしっかり行っていただきたい。

教育費については、いじめや体罰などが社会的な問題になる中、ソーシャルワーカーの配置をするなど積極的に取り組んでおられる。しかしながら、ソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの配置などでは、いじめなどの抜本的な解決にはならない。教育委員会、学校と連携して取り組んでもらいたい。

ことしは、スポーツ祭東京2013が開催され、

国分寺市では成年男子バレーボールが開催される。大会が成功するよう国分寺市でも盛り上げていただき、国分寺市のスポーツ振興が充実するようお願いしたい。

## 自治法に反する等不適切予算案は賛成できず



政策市民会議国分寺 皆川 りうこ (所属4名・反対)

〔総論〕退任する市長は骨格予算を提案すべき退任を表明した市長の予算編成は、骨格予算に近いといいながら実態は総予算だ。必要な予算は計上せず他の政策的経費を計上し後年に課題が残る。質疑で問題となった多くは、「予算に影響のある条例等は12月議会にて提案すべき。市民参加を十分に行う。事務事業評価等の結果を反映すること」等昨年示された予算編成方針に沿っていないことが起因した。3月議会に突然提案した市役所駐車場廃止、奨学金廃止条例も担当委員会において事前の説明無し。自治基本条例とは反することがまたもや判明した。行政は、削減のみに腐心し、予算の撤回再提案も自ら招いた結果だ。再開発事業の保証金基金条例については、保証金約9億6千万円のうち8億もの支出は辻褄合わせの予算のためだった。全体的に行政評価PDCAサイクルが機能してない。

〔財政面〕財政逼迫、歳入、資金繰りの工夫を財政難がより深刻になっていることが財政フレームにより明らか。H28に約51.6億円の基金残高を目指すこととなる「財政計画」とは異なり基金減少となる見込みだ。消費税歳入分約37億円が加算されても殆ど焼け石に水。都市計画の最たるもの再開発事業を進める以上、その目的税である都市計画税は本則に戻すべき。年間約2億円の歳入が見込めるのに市民への説明もない。一方的なサービス削減は市民理解が得られない。国際交流基金5800万円は取り崩しを。

〔予算各論〕違法性、事務的不備が散見される  
●自転車駐輪場整備に係わる予算が財政フレームに位置づいていない。再開発地内に移転するため将来無くなる西武バス専用道路や発着場を自転車駐輪場に活用できるよう要請を。齟齬を来たしている財源と計画、早急に改善すべし●DVシェルター補助金全額削減問題●予定価格非公開にも拘らず、生きがい交流事業の落札比率99.9953%とは不自然な上、落札額と見積額50円しか変わらない。削減が目的化し疑念を抱く市民に説明責任が果たされず未だに問題が尾を引いている●立ち退きが目前で次の活動場所が未定の就労支援事業B型については科目設置など何ら予算計上されず市として無責任。利用者の不安を招く実態●改正介護保険制度で生活援助が抑制された。その分市の事業である生活支援ヘルパー増額すべき。削減予算は問題●入浴券支給事業では、事業の目的も確認せず一方的な削減。誤った要綱に基づく契約も判明し委員会中に要綱変更はお粗末●接遇の最前線の市民サービスコーナーにおける不適切な業務。研修未実施、業務、人事マネジメントができていない●自治法210条総計予算主義に反する予算①8課15事業でのテレビ受信料を必要以上に計上②

不必要な夜間現金盗難保険料の計上③債務負担行為では、一般会計と特別会計に分離すべきとの質疑では問題無い旨の答弁だ。であるなら行政側から法的根拠含め合理的な説明すべきだが明言されず違法性ある状態は看過できない。今議会では6回もの予算提案、撤回等前代未聞。計上ミスといわず政治的判断が理由での撤回もあり得ない。他多くの問題を含む予算案には反対。

## 閉会中の委員会等

委員会はどこでも傍聴できます。

第1回定例会終了後、平成25年第2回定例会までの間に開催する委員会等は下記のとおりです。

4月4日(木) 議会運営委員会

代表者会議

4月12日(金) 代表者会議

4月15日(月) 総務委員会

4月18日(木) 議会運営委員会

代表者会議

4月22日(月) 代表者会議

4月26日(金) 議会運営委員会

本会議(臨時会)

国分寺駅周辺整備特別

委員会(本会議終了後)

5月2日(木) 総務委員会

(午後1時～)

5月7日(火) 代表者会議

議会運営委員会

いずれも市役所第1庁舎3階で開催いたします。本会議、委員会はどこでも傍聴できます。

議事担当(内468)

## 次の定例会開催予定

市議会を傍聴してみませんか

平成25年第2回定例会は、5月9日(木)から開会の予定です。

議会はどなたでも傍聴できます。審議に関連する資料も自由に閲覧できますので、ぜひこの機会に市議会を傍聴していただきますようお願いいたします。

※本会議は市役所第1庁舎3階議場で、委員会は同委員会室で、午前9時30分から開始予定です。

議事担当(内468)

## 請願・陳情の提出について

請願・陳情はどこでも提出できます

市民の皆様への行政等に対するご要望は、請願・陳情として市議会に提出できます。

請願・陳情は5月29日(水)までに議会事務局へ提出していただくと第2回定例会最終日に付託され、閉会中に開催される委員会(ホームページまたは議会事務局で確認してください)で審査されます。

※ご不明な点は、事前にお問い合わせください。

調査担当(内581)